

# 沿岸定線観測速報 ちば (2021年10月)

ふさみ丸：10月8～11日

千葉県水産総合研究センター  
千葉県農林水産技術会議  
令和3年10月28日

黒潮は、接岸して房総沖を北東に流れていました (図2)。

水温は、銚子・九十九里, 外房いずれも、水深0,200mはやや高め, 50,100mは平年並でした (表1)。

(詳細)

水深10mの水温は22～27℃で、距岸30マイル以内の海域に水温が急変する潮目が黒潮に平行して形成されていました (図3)。水深10mでは塩分34.2PSU以下の水塊が広がり (図4)、場所によっては海面から水深100m付近にまで分布しました (図6)。犬吠埼, 九十九里及び太東岬南東線では、大陸棚上の水深100～150mに、水温12～15℃の冷水が見られました (図5)。一方、犬吠埼沖の大陸斜面上で4月以来継続して分布していた親潮由来の低温低塩分水 (7℃以下, 34.2PSU以下) は見られませんでした。

海面の流れは、黒潮とその北縁付近では北東へ向かい、流速は3～5ノットに達しました。また、外房のごく沿岸では、反時計回りの海流が見られました (図2)。

クロロフィルは、水深10m, 50mともに例年並みの濃度でした (図7)。

キンメダイ漁場における水深100m以深の水温は、勝浦沖では前年より3～7℃高め、銚子沖では前年より1℃程度高めでした (図8)。海面の流れは、勝浦沖は2.7ノット、銚子沖は4.2ノットで、いずれも北東へ向かう流れでした。

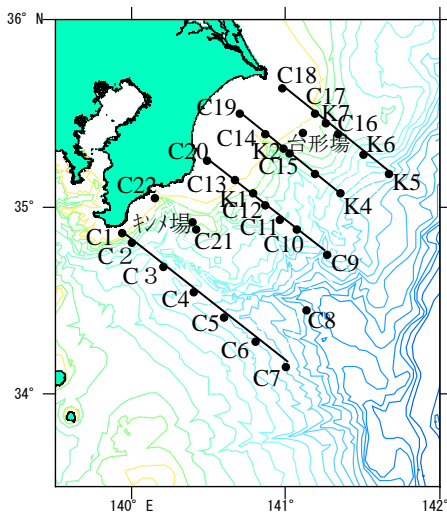


図1 調査点 (k3~7は欠測)

線は北から犬吠埼, 九十九里, 太東岬, 野島埼南東線

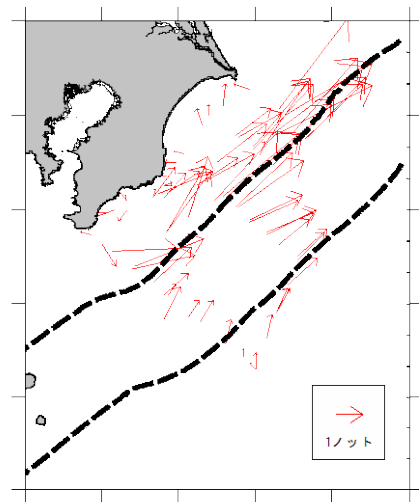


図2 黒潮流路と流況

表1 海域別平均水温 (℃) と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	25.0 やや高め	22.6 平年並	18.2 平年並	15.8 やや高め
外房	25.8 やや高め	23.1 平年並	18.1 平年並	15.3 やや高め

\*水温評価点 銚子・九十九里海域：C14～20 計7点, 外房海域：C1,3,11,13,21,22 計6点

\*沿岸水温評価の目安 (σ：標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ～
高め	1.3 σ～2.0 σ
やや高め	0.6 σ～1.3 σ
平年並み	0.0 σ～0.6 σ
平年並み	-0.6 σ～0.0 σ
やや低め	-0.6 σ～-1.3 σ
低め	-1.3 σ～-2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ～

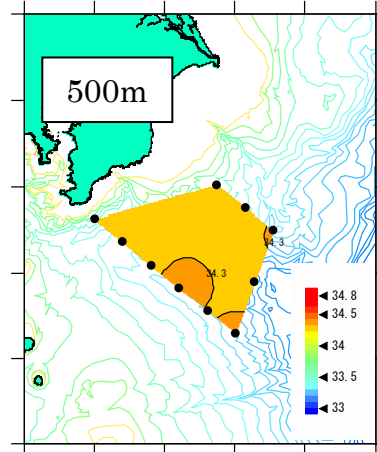
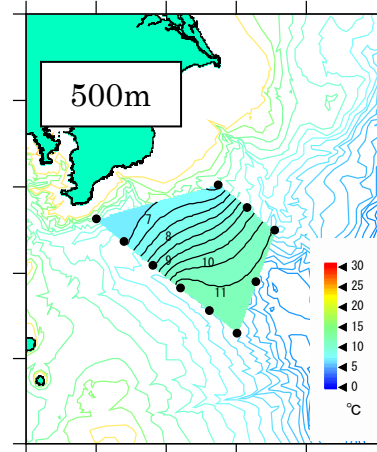
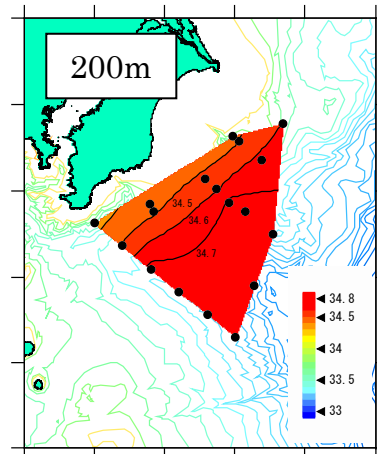
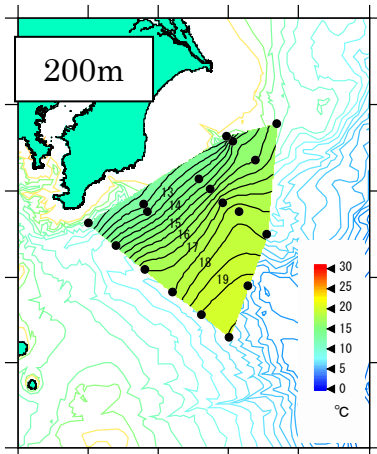
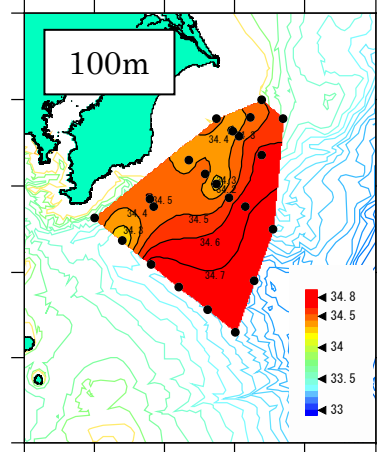
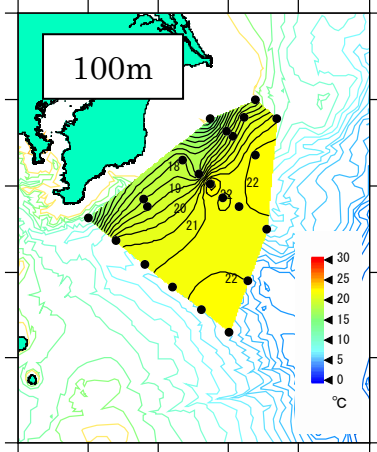
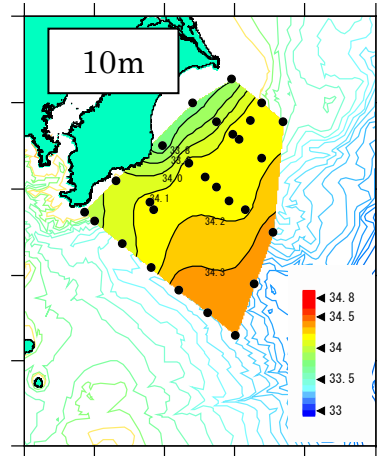
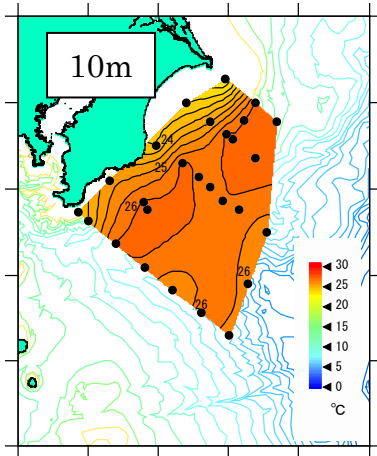


図3 水深別の水温分布

図4 水深別の塩分分布

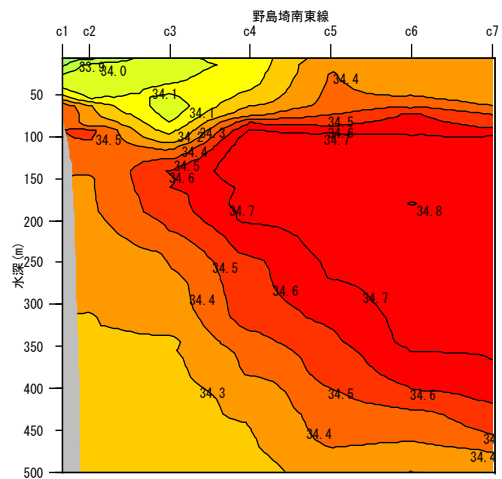
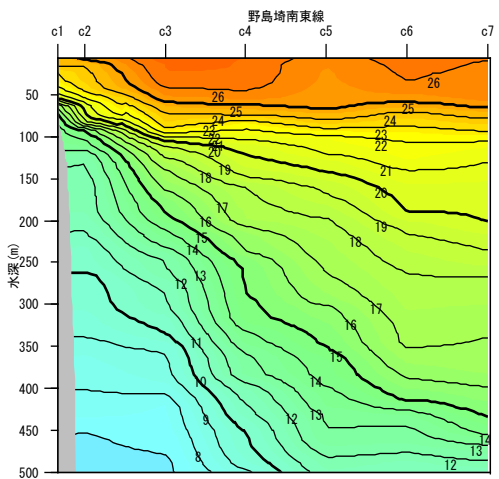
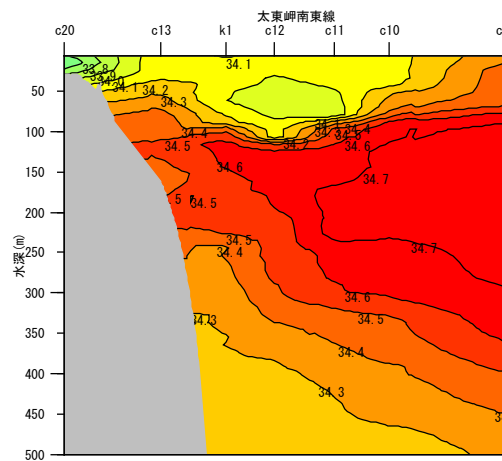
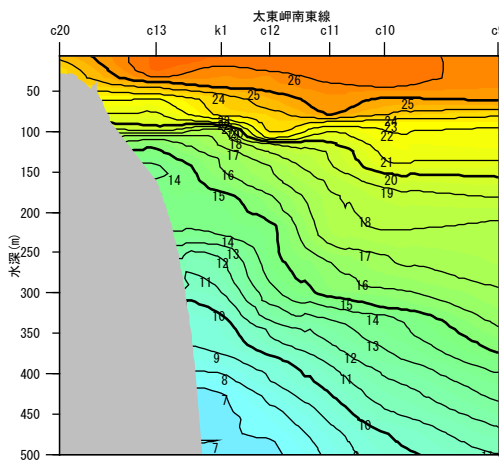
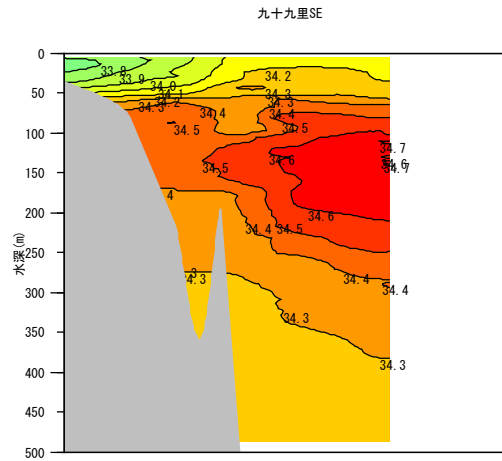
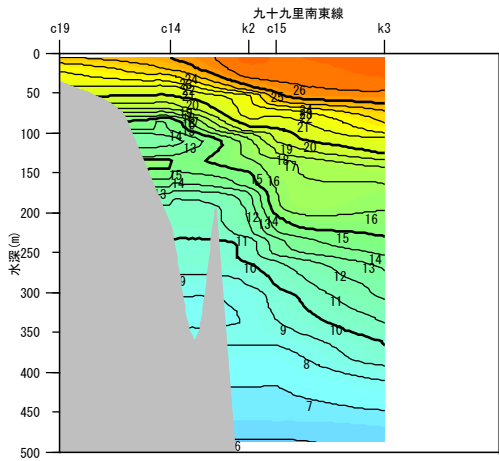
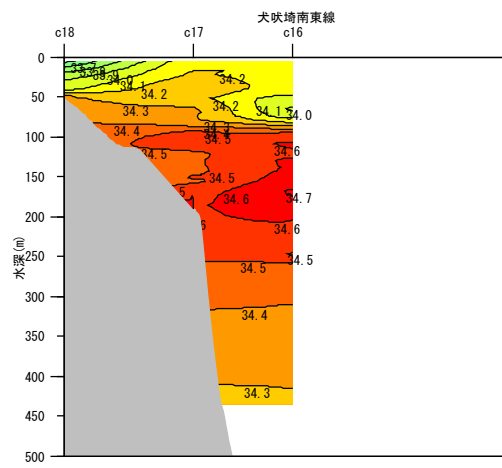
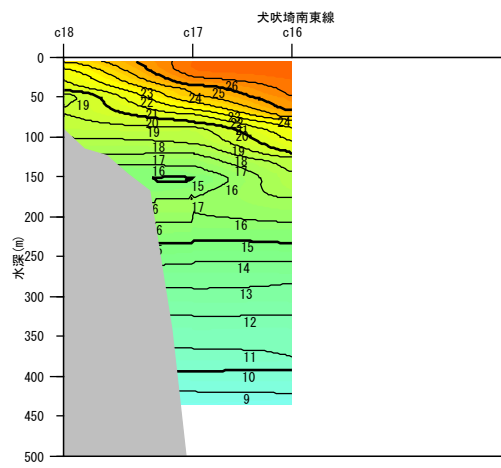


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線（図1参照）

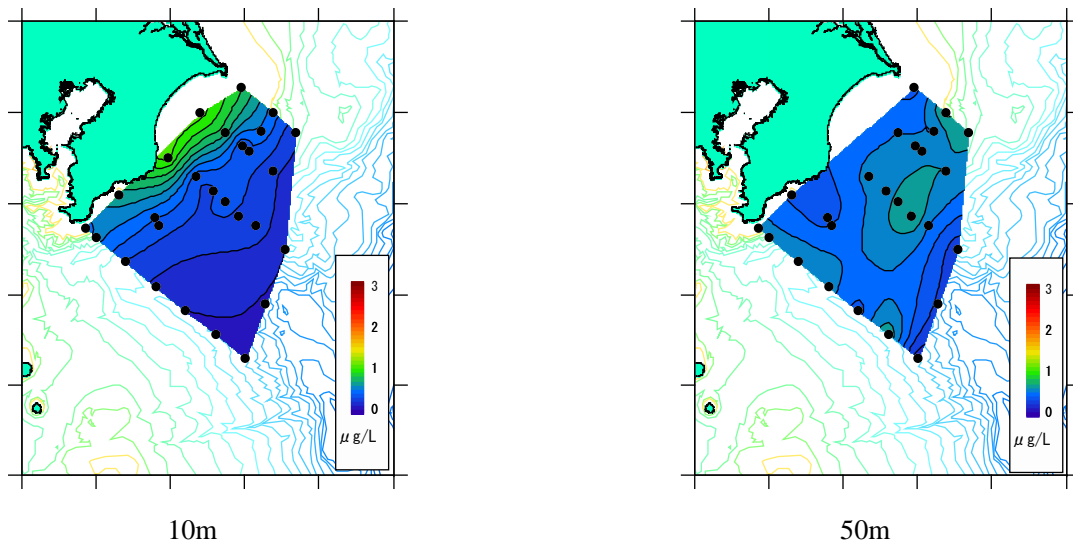
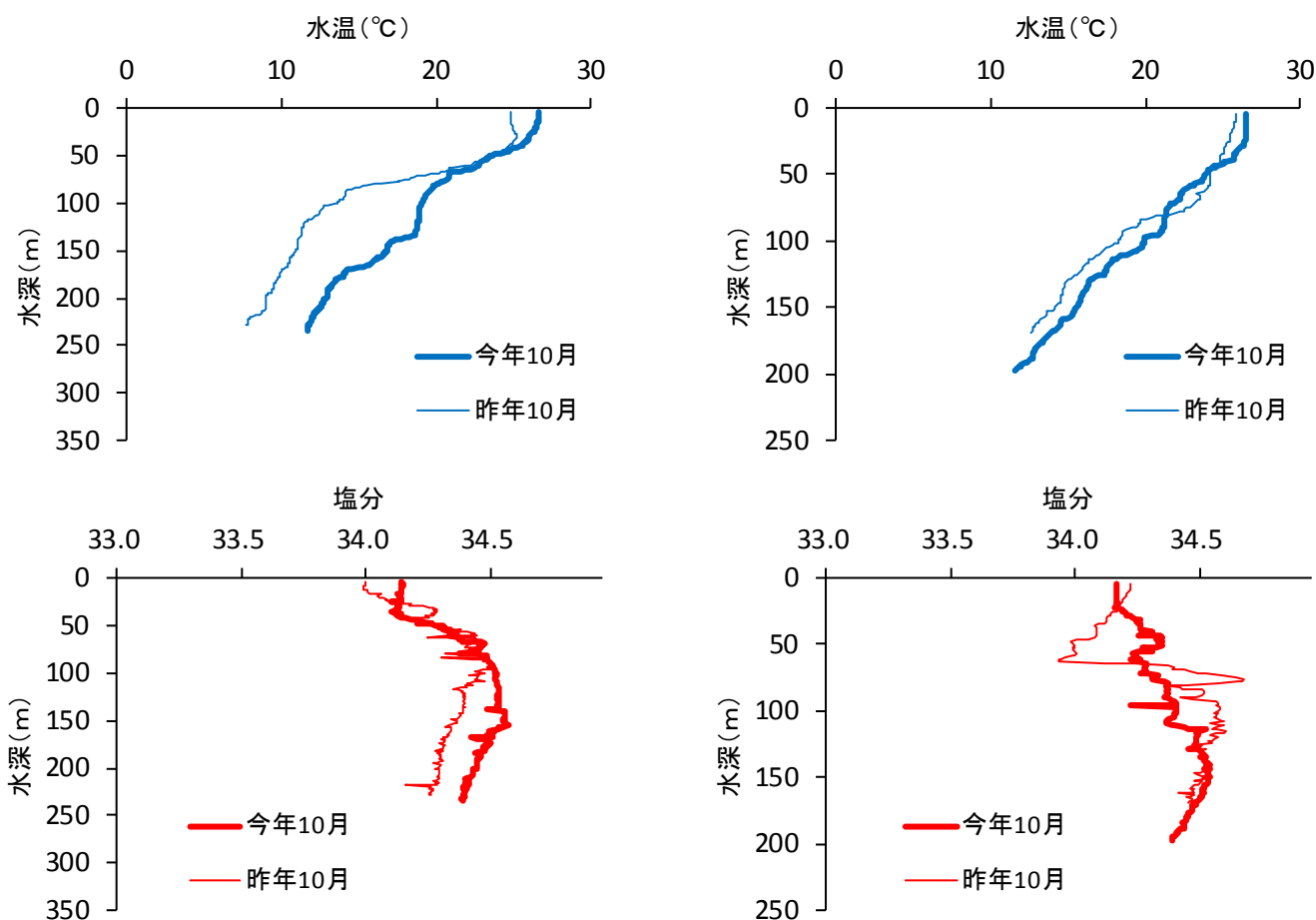


図7 水深別のクロロフィル分布 (単位:  $\mu\text{g/L}$ )



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 キンメダイ漁場の水温、塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)